

2020年9月2日

IT マネジメント・サポート協同組合
組合員・個人会員各位

IT マネジメント・サポート協同組合
梅川 英範

企画趣意書

この度、以下の内容を企画しました。

つきましては、内容をご確認頂き、ご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

1. 件名

『DX研究会』の立上げのご提案

2. 現状

2018年8月に経産省が『DXレポート～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～』というレポートを発表しました。企業は、デジタル技術を使って、これまでと違うビジネスモデルを構築していくことが必要であり、これが達成されないとデジタル競争の敗者になってしまう、とあります。既に日本では、GAFAYユニコーン企業によって従来型産業の破壊が進行しつつあります。こういった市場の変化に対し、ITマネジメント・サポート協同組合が関与していくことは必至である現状と考えています。

3. 課題

ITマネジメント・サポート協同組合は、従来、ERP導入等のOA領域で、各種の経営及びITの課題解決に対応してきており、その領域でのコンサルタントが多数在籍しています。

しかし、DX領域においては、従来の知識やスキルに加え、更なるデジタル技術の知識やスキルを保有していることが必要です。残念ながら、当組合が、それらを十分に備えている状況では無いと考えています。DX領域の研究を推進し、当組合のコンサルタントの知識やスキルを蓄積することが、当組合の課題です。

4. 目的

『DX研究会』を立上げ、ITマネジメント・サポート協同組合の構成員と研究を推し進め、DX領域の知識、スキルを共有、蓄積していくことにより、DX領域に関するビジネスに取組み、展開していくことを目的とします。

5. 内容

① 活動概要

『DX研究会』は、下記2項を満足する活動を行います。

- ・ DX領域の知識、スキルを共有、蓄積していく活動
- ・ DX領域に関わるビジネスに取組み、展開していく活動

② 開催方法（案）

- ・ 開催頻度：1回／月
- ・ 開催日時：土曜日の15:00～17:00
- ・ 開催場所：Y-vally（リモート参加有）
- ・ 開催期間：2020年10月～2021年12月
- ・ 開催条件：3名以上の参加で開催

6. その他

『DX研究会』の立上げに当たり、まずは、有志による数回の意見交換（フリー・ディスカッション）を行い、『DX研究会』の具体的なテーマや進め方を検討します。

以 上